

保護者からのご意見・ご提案（12月分）への回答（青字表記）

<学習面>

○期末テストなど休んだ場合に再試験等の措置がないことが心配です。

受験者と公平になるように再試験を行うことが難しいので、現状再試験は行っていません。欠席した場合は、それまでの実績や平均点などを参考に評価点の一つとして加味していきます。

○今は通塾している生徒が多いと思う。塾は今の時代の生徒の感性に合った教え方をしている。授業において、間違いでなくても先生の意にそぐわない回答を出すと正答とされない。「そういうやり方もあるね」でよいのではないかと。「もっと学びたい！」という生徒の思いを大切にしてほしい。教える側も常にアップデートを。

校内や校外で行われる研修などを通して教員も自己研鑽に努めています。今後も校内研修では、生徒の実態に合わせた研修を企画し、一人一人の生徒がより主体的に学ぶように努めていきます。

○数学や英語の少人数指導で、單元ごとに先生が変わるそうですが、子どもによって先生との相性(この先生の方がわかりやすかったよ。)があると思うので、子ども達が選択できたらいいなと思います。

教員によって指導や対応に差がないように、これからも同じ教科の教員どうしで情報共有や共通理解に努めていきます。

○5教科は、單元テストでなく中間テストに戻した方が、子どもたちの気構えが違うと思います。

○期末テストのみの現状。テストのない期間が長く定期的な学習習慣が身につかないと強く感じる。

單元ごとという短い期間で授業や家庭学習の成果を確認できる單元テストを行っています。單元テストの結果を受けて日々の学習方法を見直せるように言葉がけをしています。テスト前だけでなく、日常的に学習を行う習慣がきちんと身につくように指導していきます。

○4技能教科は実技試験や作品の提出があるので、試験は学期に1度、5教科と少し時期をずらして実施が良いのではないかと。特に1学期は新生活に慣れるまでバタバタしていたり範囲も狭く、1度でよいのではないかと話が出ました。

試験の回数や時期については、生徒の生活や学習内容をふまえて、見直しを図ります。

○4技能教科の先生も、内申点は生徒の人生に関わるということを理解してつけるようにしてください。

学校全体での研修や各教科内・教科間での話し合いを通して、より客観的で妥当性のある評価ができるように取り組んでいきます。来年度も多くの研修や話し合いを計画し、教育の質を高めます。

<情報関係>

○リモート授業を何度か受けましたが、パソコンの性能が悪く、パソコンがフリーズするので、授業内容がよく分からない場面が度々ありました。

リモート授業で困ったことがあった時には、学校に連絡してください。対応していきます。

○リモート可能な授業、可能でない授業が1日の中でもあるかと思います。時間割など、当時の朝までに分かるとういと思います。

特別教室に移動しない授業はリモートで配信を行うことが可能です。週の時間割は年間を通して同じであることが多いですが、変更があった場合などはお知らせしていきます。

○学校でどんなことをやっているのか、伝わってきません。

ペーパーレス化は理解できる場所がありますが、文字が小さく読みにくいし、ズームしても全体が見えないのでわかりにくいです。

○もっと情報の発信に使っていただきたい。

引き続き、HPや通信で学校の様子をお知らせしていきます。また、学校公開週間が設定されていますので、ご参観ください。ペーパーレス化を進めますが、適宜紙媒体でも配付していきます。

○タブレットの使い道、なぜ家でもつかわないのか？（使うような課題が出ない）

1・2年生は、平日課題を出していないので、一斉課題という形でタブレットを使うことはありません。自主学習の中で調べ学習を行ったり、ドリル学習を行ったりすることを随時紹介していきます。

○タブレットに、リスニングアプリや計算アプリなどを入れて、楽しく問題を解けるように活用したい。

本市においてタブレットはリース品なので、使用方法や入手できるアプリなども制限されています。

しかし、現在入っているアプリの中に、家庭でインターネットにつなぎパスワードを入力することで、自主的にドリル学習ができるものがあるので、再度使用方法をお知らせしていきます。

<生活面>

○寒い日は仕方がないですが、公開日のときは教室、特別教室の扉を開けておいてほしいです。

生徒の活動をご覧いただきやすいように、環境を整えていきます。

○マスクについて 授業中は、話をせず先生の授業を聞くだけなので、マスクは外させて頂きたいです。

「なぜマスクをするのか」このことを生徒に考えさせます。その上で生徒・職員は状況を把握し、マスクの着脱を自分で判断するようにしています。その一方で登下校・運動時はマスクを外すように、今後も指示を出していきます。

○指差しで話すのをやめてほしい。

人として慎まなければならない行為です。相手に不快な思いをさせる行動は見直さなければなりません。自分のふるまいが相手をどんな気持ちにするのかを考えるきっかけにしたいと思います。

○タブレットの使用方法・ルールを子ども達へ再確認してほしい。

タブレットのみならず、情報機器の扱い方については、ルールを定期的に再確認し、トラブル防止に努めます。

○タブレットのパスワードは、できたら保護者のみに開示して頂きたい。

学校でタブレットを使う際には、生徒自身がパスワードを入力する必要があるため、本人には必ず伝えます。ご心配があれば、いつでもご相談ください。

○9月の大会の賞状が手元に届いたのは11月末でとてもがっかりしていました。大会が終わって興奮冷めやらぬ時に、なんらかの形で健闘を讃えてもらえたらよかったのと思いました。

表彰の時期が遅くなってしまい、大変申し訳ないことです。定期的に表彰の機会を設け、適切な時期に表彰を行うことができるようにします。

○部活動をもっと活発に行ってほしい。部活動に入る・入らないの選択があるのだから、入っている子はもっと真剣にやりたいと考えている。

○中学の部活動はどうなるのでしょうか？

市から提示されている『部活動指導の手引き』に従って活動しています。その中で、少しでも生徒にとって実りある活動となるよう努力していきます。

また、今後部活動の在り方や方針等が変わりましたら、随時お知らせします。

<行事>

○体育祭の時期について、ケガにつながることもあるので、もう少し練習期間があってもいいのではないかと。また、全員リレーなど、チームでなにかやる体験をさせたい。

時期については、他の行事との兼ね合いも考慮しながら検討していきます。安全に留意した準備や種目内容、ルール設定など今後もケガ防止には十分配慮した活動を目指します。

<その他>

○バザーの一品寄付についてですが…

今は物を頂いたりしない時代になり、わざわざふだん使うものを渡して頂いたり、断る家庭も増えた気がします。集める側も負担が大きいので、もう少しやり方を考えて頂きたい。

豊城朝市は、PTAの皆さんが本校生徒のために企画し、運営してくださっています。町内それぞれの方法で回収していますが、やり方を改善できるところがあるかを検討しています。

○大変なご時世の中、日々子どもたちのために教育活動を熱心にしていただき、ありがとうございます。毎日楽しく通えているのも、先生方のおかげだと思い感謝しております。

中学生は、難しい年頃であり、性格も様々です。努力や意欲が表現できる子できない子、それぞれです。努力が目立ちにくい子、性格的におとなしい子など、全ての子の小さな変化にも気づいてくださると、親としてはとてもうれしいです。

ありがとうございます。職員は、授業や部活だけでなく、授業の準備やさまざまな研修に励んでいます。また、LT ノートの朱書きや日常の会話、面談週間を使ってより生徒を理解しようと努めています。

○担任の先生がいろいろなところに目を向けてくださり、表現豊かによく褒めてくださるので、子どものモチベーションが上がり、とてもありがたいです。親としてはとてもうれしいです。

ありがとうございます。褒めるところを見つけられたときは、職員としてもうれしいものです。今後も生徒一人一人のよいところを更に伸ばせるように、声かけを続けていきます。